



カナダと日本を結ぶコミュニケーションプレス

メイプル

東北

Vol.8



▲大きな夢を語ってくれたガーナ・ウェバーさん。

仙台から日加友好の架け橋

ガーナ・ウェバーさん(GARNER WEBBER)は、カナダのB・C州ビクトリア市出身でビクトリア大学(太平洋・アジア地域研究)を卒業されました。日本食も“OK”でとても上手な日本語でお話しのできるウェバーさんは、お母様が仙台ご出身ということもあり、来日は今回が5回目。

今回は、財宮城県国際交流協会の海外学生インターンの受け入れ事業として2ヵ月半の研修予定で来日され、うち1ヵ月半をカメイ株総務課に所属して、各種の実務研修や大変興味を持っている「社員教育」に関する勉強をします。また、このほかにも日本語能力の向上(使用頻度の高い表現や敬語)や日本の業務上の礼儀作法なども勉強したいそうです。

研修後は、2年程仙台で仕事をして、その後はカナダで大学院に入学したいそうです。将来は日本で得たいろいろな経験や知識をもとにして、日加関係、特に宮城県とB・C州の交流を推進できるような仕事をしたいと語ってくれました。



NEWS

東北日本カナダ協会会長 玉川敏雄氏逝去



ご逝去 平成6年9月13日
享年 78歳

玉川氏は、平成2年12月の当協会設立当初から会長をつとめられたのをはじめ、東北・カナダ間の友好交流の拡大に熱心に取り組んでこられました。また平成3年5月には、こうした功績が評価され、東北地域でのカナダ名誉通商代表に任命されました。

生前、玉川氏は「カナダの人は素直で鷹揚なところがあり、東北人の人柄と共通している面があります。人間の交流を土台にして進めれば、交流拡大は大いに期待できると思います。」と話されており、人と人のつながりを基本とした交流を大事にしておられました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成6年度定時総会が開催

7月21日、仙台市において東北日本カナダ協会の平成6年度定時総会が開催されました。当協会の黒田副会長が議長となり、議事が進行されました。

6年度も一層の交流拡大に向けて講演会やセミナーの後援、開催ならびに相互交流に関するイベントの開催など積極的に活動していくこととしています。

定時総会終了後、「頑張れ宮城—東北とカナダの物流」と題して、七十七銀行の調査部参与で国際関係の仕事をしている佐藤元良氏による講演会が開催されました。詳しい資料を元に、カナダ・B・C州の対日・対東北国際物流についての大変貴重なお話を伺うことができました。



▲様々な議題が話し合われました。



▲貴重なお話も聞いて勉強になりました。



▲なごやかなムードで乾杯。

カナダフェアが開催

これは、昨年に引き続き、JR東日本が8月の「仙台空港発着・カナダへの直行チャーター便」の運航を前に主催したもので、今年は5月20日から27日までの8日間開催されました。期間中、会場となった仙台駅2階ステンドグラス前では、マルチビジョンによるカナダの自然紹介やカナダの名産品の展示即売が行われ、連日たくさんの方々が見えました。

フェア最終日には、カナダに関するクイズや期間中のアンケートに応えた方の中から旅行券が当たる抽選会などが行われ、大変な賑わいを見せていました。



▲名産品の展示即売もあり、大盛況でした。

カナディアンアートフェア'94

仙台市において、9月2日から7日までの6日間にわたり、カナディアン・アート・フェアが開催されました。会場となった丸善・仙台一番町店2階ギャラリーには、カナダの大自然が描かれた作品100点余りが、展示・即売されました。

作品は、「カナダの大自然との対話」をテーマとした絵画(油彩・水彩・アクリル等)で、現在活躍中の人気作家のものが選ばれました。一枚一枚の作品からカナダの自然の素晴らしさと感動が伝わってくるようで、来場されたたくさんの方々も、美しいカナダに魅了されました。



▲大自然の素晴らしさが伝わる素敵な作品が展示されました。

カナダ関係の書籍紹介

前回号に引き続き、協会備え付けのカナダ関係の書籍を二冊ご紹介いたします。

まず、一冊目の『カナダの風土と民話』(こびあん書房)は、著者の浅井晃氏が一年間カナダ各地を旅行して見聞したことを記したもので、222ページ・17章からなります。大自然に育まれ、歴史の波を乗り越えてきたカナダ諸民族の現況と、豊富な民話の世界が描かれており、ニューファンドランド人の笑話、アカディア人の悲劇、フレンチカナディアン人の悪魔譚、インディアの神話、イヌイットの消えた村の話など日本に知られていない民話の数々が紹介されています。また違った角度からのカナダが見えてきそうです。

二冊目は、吉田健正氏と竹本徹氏によって書かれた『カナダ生活事典』(白馬出版)。1章の「カナダを知る」では、カナダの国家・政治をはじめ、歴史や気候などについて、2章では事細かな書類や生活用品の「出発前の準備」について、3章の「カナダで生活する」では、住宅事情や日常生活の買物・医療システム・カナダ人とのつきあい方・ビジネス情報が紹介されている他、「知っておきたい法律」「教育事情」「交通機関」「カナダの文化に接する」など全8章で、それぞれ大変詳しく親切に書かれてあります。これからカナダで生活を！とお考えの方にお勧めの一冊です。



▲カナダでの生活を考えている方にピッタリ。とても役に立つ2冊です。

[R.ジョリコール神父 カナダへ帰国]

仙台YBU文化センターの館長で、当協会個人会員のジョリコール神父が、このたびカナダへ帰国することになりました。

ジョリコール神父は、カナダのモントリオール市に生まれ、昭和25年来日されました。以来、44年間にわたって青森市をはじめ、仙台市など東北各地で数多くの奉仕活動(幼稚園の創設、ボーイスカウトの育成、赤い羽根共同募金など)に従事され、25年前に開設された同センターの館長としても活躍されてきました。この7月には、これまでの活動が評価され、青森市から感謝状が贈られるなど、神父のカナダ帰国を惜しむ声も広がっています。

神父の帰国は、健康上の理由とのことですが、長い間の生活での東北を振り返り、大変名残惜しそうです。

神父の帰国後の住所は下記のとおりです。お便りやカナダへ行かれる際などには、是非ご連絡をしてみたいかがでしょうか。

ROLAND JOLICOEUR ADDRESS

Mission ETRANGERES
180 PLACE JUGE DESNOYERS PONT,
VIAU, QUE, CANADA H7G 1A5
TEL.514-667-4190
FAX.514-667-4194

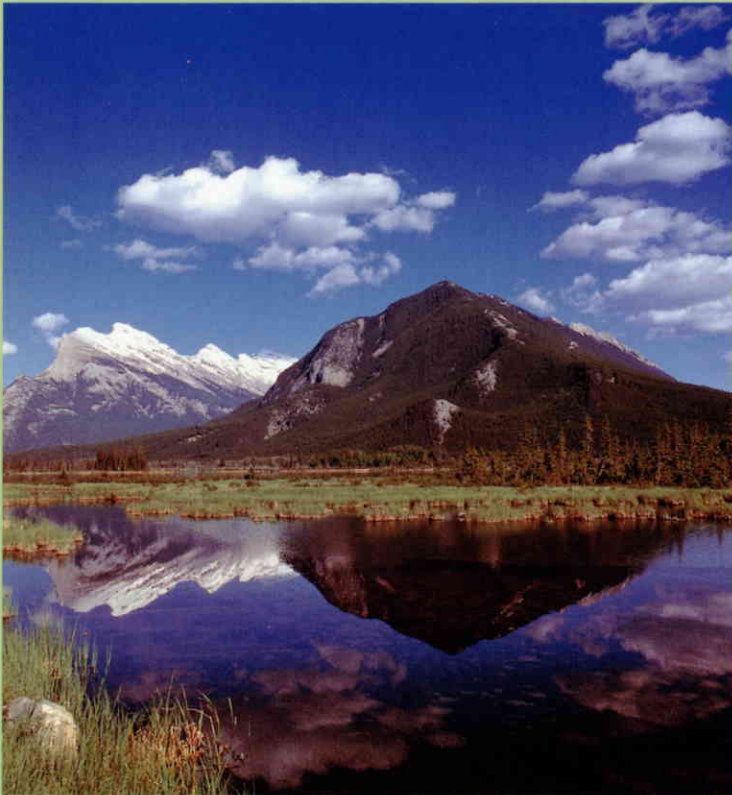


▲花束を受け取るジョリコール神父さん。長い間ありがとうございました。

カナダ自然紀行

大自然に抱かれた輝き 湖面に映えるロッキーの山々

ヴァーミリオン湖



カナディアン・ロッキーの中で最も有名なりゾートタウンがバンフ。そのバンフの西に位置するのがヴァーミリオン湖です。複雑に入りくんだ湖には、それぞれ無数の小さな池や小川が周囲にあり、カヌーで湖めぐりもO.K.。ここからのランドル山の眺めも抜群です。



会員紹介

法人会員

1. 氏名
株式会社グリーンハウザー
2. 連絡先
〒983 仙台市宮城野区中野字上袋田18-1
TEL022-254-4170



▲カナダ杉の家

3. 事業内容
住宅関連諸資材総合販売
4. カナダ協会へ一言
「森林国カナダ」と当社の交流は、会社が設立した昭和48年より始まりました。

当社はカナダから供給される木材製品を年間金額にして45億円位輸入し、東北地区の木材販売会社及び、住宅建設会社に販売しています。カナダへは木材製品の仕入及び検品等のため、月2回社員が出張しています。

雄大な自然を愛し、森林資源の計画的な生産を行うカナダとの交流は今後共、より密接な関係がますます深まると見られます。

カナダの美しい杉と特徴を生かした「カナダ杉の家」は、当社の系列会社、グリーンハウザー住宅販売㈱より販売し、好評を得ています。

個人会員

1. 氏名
笠原 眞
2. 連絡先
〒980 仙台市青葉区霊屋下7-10
ライオンズマンション瑞鳳701号
3. 職業
東北野球企業株式会社
総務部長(プロ野球興行)



4. カナダ協会へ一言
1960年7月、ボーイスカウト日本代表派遣団隊長として米国ジュピリージャンボリーへ参加した時、バンクーバー市を訪問したのがカナダとの出会いです。カナダが大好きになり、友達もふえました。前会員のジョリコール神父さんと再会のためケベック州への旅行も実現したものです。

国際親善・交流の意味でも總會その他の会合には、日本人会員だけでなく在日大使館員、在仙カナダ人や留学生の方々も多く出席して頂けるよう希望します。

1994年10月発行

発行人/東北日本カナダ協会 The Tohoku Canada-Japan Society

〒980 仙台市青葉区一番町三丁目7-1

東北電力㈱ 地域開発協力部内 TEL. 022-225-3052(直)

FAX. 022-227-8390